

<No13 : 水準測量>

レベルの視準線を点検するために、図13のようにA及びBの位置で観測を行い、表13に示す結果を得た。この結果からレベルの視準線を調整するとき、Bの位置において標尺Ⅱの読定値を幾らに調整すればよいか。最も近いものを次の中から選べ。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

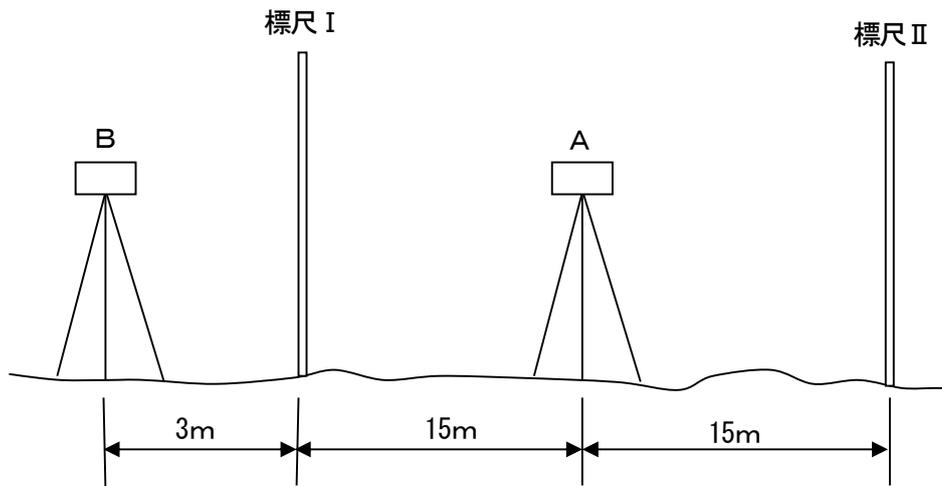


図13

表13

レベルの位置	読定値	
	標尺Ⅰ	標尺Ⅱ
A	1.4785 m	1.5558 m
B	1.6231 m	1.7023 m

1. 1.5579 m
2. 1.6250 m
3. 1.7002 m
4. 1.7021 m
5. 1.7044 m